

## Evidence-based Health Care Special Lecture I (2) The very basics of epidemiology: Mini-report

エビデンスベーストヘルスケア特講 I (2) 保健学/疫学研究の指標とデザインの基礎知識：ミニレポート

領域 解答例 学籍番号 氏名

Dept. Reg. No. Name

Q1. Please consider the possible example of impaired validity/accuracy/precision (妥当性, 正確さ, 精度について, それぞれが損なわれる例を考えてください)

● Impaired validity (妥当性が損なわれている例)

(例) 客観的健康状態を評価したいのに主観的健康観の聞き取りを指標にしてしまう

● Impaired accuracy (正確さが損なわれている例)

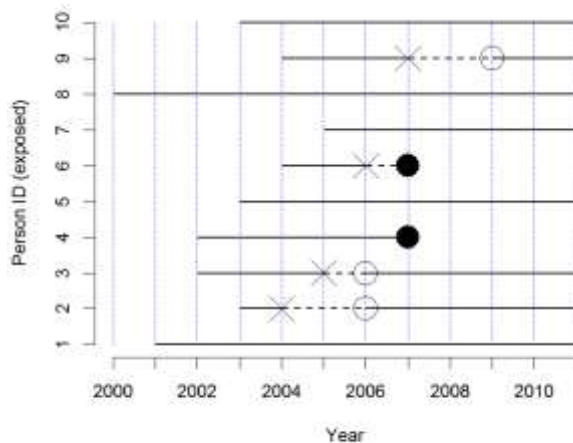
(例) 吸光度を使った定量分析をするのに検量線の傾きが間違っている (より発色の良い別のロットの試薬を使って作った検量線だとか)

● Impaired precision (精度が損なわれている例)

(例) 秒針までしかないアナログ時計で測定した 100 メートル走のタイム

Q2. Please calculate incidence rate and risk for the whole study period and prevalence proportion at year 2006 for the data shown below, for exposed group and unexposed group, separately. In addition, please calculate rate ratio, risk ratio and attributable risk (risk difference) for whole period and odds ratio in 2006.

(下図に示した曝露群, 非曝露群各 10 人のデータについて, 2 群それぞれの, 全調査期間の罹患率, リスク, 及び 2006 年の有病割合を計算せよ。さらに, 全調査期間データで, 率比, リスク比, 寄与危険 (リスク差) を計算し, 2006 年に断面研究をした場合のオッズ比も計算せよ)



曝露群

罹患率は,  $4/(10+1+3+5+8+2+6+11+3+8)=4/57$

全調査期間のリスクは,  $4/10$

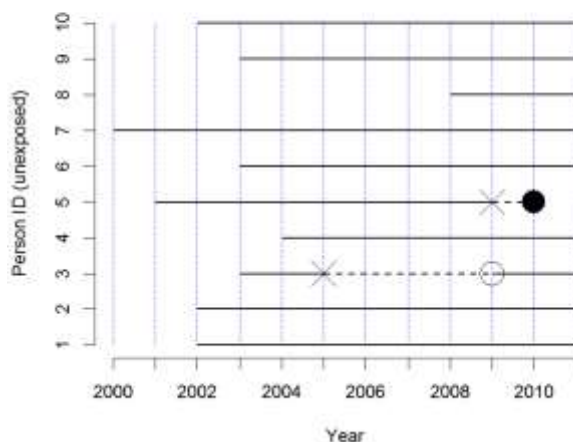
2006 年の有病割合は,  $1/10$

非曝露群

罹患率は,  $2/(9+9+2+7+8+8+11+3+8+9)=2/74$

全調査期間のリスクは,  $2/10$

2006 年の有病割合は,  $1/9$



2 群の比較

率比は  $(4/57)/(2/74)=148/57$

リスク比は  $(4/10)/(2/10)=2$

リスク差は  $(4/10)-(2/10)=2/10$

**2006 年のオッズ比は,  $(1/9)/(1/8)=8/9$**

※オッズ比は有病割合の比ではなくオッズの比であることに注意されたい。